

第7回PI外環沿線協議会 傍聴者アンケート集計

【質問の内容】

1. 本日のPI外環沿線協議会に関するご意見・ご感想
2. 外環についての日頃のお考え、思っていること
3. その他、協議員や事務局などに伝えたいこと

『練馬区石神井台、60代、男性』

1 について

- ・月2回というハードなスケジュールですから、事前の準備も大変でしょうが出来る丈早くまとめて、各協議員の共通認識を事前にまとめられますとよりよくまとまってゆくのではないのでしょうか。
- ・然し私個人としては、どのお話も大変興味深く聞かせて頂いています。

2 について

- ・仮定の話ですが、外環の必要性を認めても、自分の地域にはその道路は通ってほしくないという考え方をする方は多いと思います。それを克服する一つは技術とか工法の進歩で工事中の安全、騒音、完成後の公害に対する信頼性です。また、自動車そのものの低公害化もあります。この点をしっかり確立し、説明して頂きたい。
- ・先日、朝日新聞で環八の公害記事(黒いスス)が出ており、大変敏感に心配する向きもありますので。

3 について

- ・度々傍聴させていただき(マンション管理組合の職務上)協議員並びに事務局の皆さまの熱心な進め方に私個人としては信頼感をもっております。
- ・このような傍聴者のアンケートもある協議員のご提案が引き金となったのですが、傍聴者としては大変結構だと思います。私としても十分意義を理解した上で今後もアンケートにお応えしたいと考えています。又、活用もさせて頂きたい。
- ・上石神井近辺のオープンハウスの予定は是非ご連絡いただきたい。
- ・練馬区に排ガス測定局がないようでこれはびっくりしました。

『杉並区西荻北、50代、男性』

1 について

- ・本質的な議論が少ない。

2 について

- ・まだわからない。

3 について

- ・意見が一部の人に偏っている。
- ・全ての人に意見を出させる。

『新宿区西新宿、40代、男性』

1 について

- ・江崎さんの質問への個別対応は不当。データ改ざんの可能性もあり、我々傍聴者にもきちんと情報公開して欲しい。そのために傍聴に来ているんです。
- ・オープンハウスは土、日にやって欲しい。金曜日は週末とは言わない。

2 について

- ・必要性の議論の前提として、もっと具体的イメージを示して欲しい。
- ・私が以前から質問している東八道路にインターができた場合、開削ブロックが玉川上水にかかるのか否か？技術的に回避できるのか、きちんと開示してもらいたい。

3 について

- ・議論が全く十分に煮つまっていないのに、はいもう終わりましたという進め方もおかしい。
- ・オープンハウスの具体案を議場に作って、それをたたき台にして、各協議員の意見もいれてブラッシュアップすべき、不毛な議論が、子供の学級会みたいである。議論するのに中身(各論)を提示するのは当たり前、抽象論だけで議論しようというのは役人の悪いところである。具体論が大切。

『新宿区南町、40代、女性』

1 について

- ・最後の江崎さんのデータの差異についての質問に対して、国交省が個別に答えるのはおかしい。データの出所等は重要なのできちんと公開で説明すべきです。

2 について

- ・オープンハウスは、実際どういう月にやるのか、協議員の目に見える形に展示したらどうか？

3 について

- ・未記入。

『杉並区久我山、70代、男性』

1 について

- ・道路は近くにあると環境への影響が心配、一方、遠くにある道路は利便上プラスであり、地域エゴが強く出てくる。従って時間をかけてP Iを十二分に重ねることが必要。行政の進め方も時代の変遷を良く研究することが不可欠。
- ・影響大な狛江の方がいなかったのは残念。

2 について

- ・外環（放5も同様）の計画を何十年も前にいったん決めたから現在も有効と言う先入観を持たない様に世界が変わってきていることを十分認識して対処することが必要。オープンハウスの提案仕方にも反省を。

『杉並区久我山、60代、男性』

1 について

- ・都の総合アセスメント（形ばかりで全く無意味）と違ったP Iの進め方で、放5の影響地域の住民として、大変うらやましく思いました。

2 について

- ・放射線と環状線の相互機能から、双方の成行きを相対的な立場で検討されるべきだと思う。

3 について

- ・協議員の皆さんが中途半端な妥協のない態度で、しっかり議論をして欲しい。
- ・事務局も単にいかにしてまるめ込もうかでなく、人間の立場で、きっちり哲学をもって対応されたい。

『武蔵野市吉祥寺南町、60代、女性』

1 について

- ・[外環オープンハウス]については、わけがわからない。
- ・[目的]に書かれたようなオープンハウスをするならば内容についてもっと話し合う必要がある。
- ・パネル、リーフレットの内容がどんなものになるかによって、オープンハウスの意味が全くちがってしまう。どんなオープンハウスにするつもりか、非常に気がかりである。P Iにすさわしいオープンハウスにしてほしい。

『練馬区石神井台、30代、男性』

1 について

- ・住民の代表として時間をさいているのは頭がさがる。ただ、住んでいる人の声をどうも代表しているようにには思えない。私の近隣にはインターネットにアクセスできないので（年よりの多い）活動がつかまらない。

2 について

- ・これ以上、悪政により中途半端な状態が続くとすれば犯罪になると思う。人の交通の流れをみだし、街並みを破壊、発展をそししている。住んでいる人にペナルティーを支払わねばならないと思う。

3 について

- ・このP I協議会が決議した内容は、役に立ったのでしょうか？
- ・道路の路線予定地にある人一番の当事者の意見は全然ないのか
- ・計画が凍結して中途半端になっている生活は？（環境も大事だが（計画）それによって損なれをしている現状で）

『三鷹市上連雀、40代、男性』

1について

- ・議事というより個々の意見の集約が困難に見える。個々が協議すべき。

2について

- ・首都を守る為に必要・住民への配慮を厚く

3について

- ・頑張ってください。

『氏名未記入、杉並区堀ノ内、20代、男性』

1について

- ・初めて参加させていただきました。結構失望しました。期待も持てましたけれども。

2について

- ・外環沿線住民にとっては大きな問題だと思うけれどもその他の人にとっては、ほとんど興味がない話題だと思う。

3について

- ・住民百人いれば百通りの意見や考え方がある。それは当然。ただ、それをすべて会議の場に出した所で議論は進まない。小学生の学級会の方が見ていて楽しいし、充実していると思う。
- ・行政側も「外環を作る」という前提で話を進めてしまいすぎ。「作る」ことを決定しているのならPIなんてする必要はない。
- ・住民の意見を100%聞き入れることは絶対不可能。外環を作るならもう着工してしまえばよいと思うし、まだ決定していないのなら、もう少し、住民のイケンを尊重する議事進行等を望みます。偉そうに書いてしまって申しわけございませんでした。

『住所・氏名未記入、40代、男性』

1について

- ・進行役については、極めて高度な技術が要求される役割だと思う。役所内のポストの序列が協議員>進行役になっているとどうしても欲求不満の残る進行になるように思います。「国土交通省、はっきり答えて下さい！」とさばけば簡単に済み、進行も進んだ場面が何回かあったように思います。(例えばオープンハウスはどこが主体か等)

【第6回協議会について】

『青葉区柿の木台、年代未記入、男性』

- ・協議会の目的とスケジュールを、その都度の会議の冒頭で明らかにするとよい。はじめての傍聴者にも分かるように。
- ・何を議論すべきなのか、議論すべき項目を全体でつねに確認すべきであるように思う。
- ・目的とスケジュールは協議会で決めるべきもっとも重要な事項であり、事務局から提案すべき事柄ではない。
- ・議論のときは、出席者の肩書きはなしにして、全部「さん」づけにしたほうがよい。合意形成は、どれだけ自分の立場に固執せず、相手の立ちに立って考え、そしてよい代替案を見いだすことにある。はじめから肩書きでは立場にこだわってください、と言っているのに等しい。行政担当者だけ肩書きがあり、市民にはそれが無いというもおかしい。「それぞれの立場で」という発言が多い。むしろ立場を離れた議論が必要ではないか。
- ・司会者は、発言者の発言のあと、一言、短くまとめるか、「たゞいまのは、・・・についての語発言でした」と言い添えるほうがいい。複数の発言を羅列されるだけでは、話をまとめる方向性が見えてこない。
- ・「地域の課題を掘り起こす」ことが重要で、都市論や環境論といった一般論について議論するところではないということが認識されていない。
- ・資料3について。一般論からの提案になっている。「公共事業は必要である。外環は公共事業である。ゆえに外環は必要である」式の論法は、かえって紛糾のもとになるということが分かっていない。この論理が成り立たないからPIが必要なのである。ヨーロッパとの比較で社会資本整備率が低い

ら外環が必要だ、という論法と同じで、こうした論法がどれほど住民の機嫌を損ねるか、よく理解すべきである。他の高速道路と外環の場合を比較して、議論することには意味がある。コストの問題、地域の防災の問題、要するに、ステークホルダーのインタレストに沿う議論をつねに行うように心がけるべきである。

『世田谷区成城、60代、男性』

1について

- ・ やっと、本日から原点にもどっての議論が始まろうとしております。何回かけても良いから徹底して真のP I、今後の模範になるP Iをやって下さい。
- ・ 外環は作っても、作らなくても、地域住民・都民・国民に環境面、金銭負担面でもツケ、負担をかける事になります。必要性の議論を原点にもどって徹底し、全てを広く地域住民に都民、国民に積極的に広報して下さい。
- ・ 日本で初めてのP Iである事を忘れずに。最後に住民、国民の意見もすいあげて下さい。

2について

- ・ 外環についての日頃のお考え、思っていることを自由にお書きください。
- ・ 最近の高速道路に関する種々の情報を見・聞きするにつけ、賛否の判断をしずらくなっております。建設費額・償還方法・人口・交通量予測・環境面や排気塔・地下水・幽邃等のデータ、根拠・理由等を読まないうちから賛否を口にされる方もおられますが、地域住民に都民・国民にしっかり判断させる為にもしっかりとした責任あるデータをまず広報して下さい。
- ・ 子孫にツケを残さないのも国民の義務と思います。

3. その他、協議員や事務局などに伝えたいことがありましたらお書きください。

- ・ 外環は作っても、作らなくてもツケは地域住民・都民・国民の負担になっていますし、これからもっと負担は大きくなります。協議員は決定される方ではありませんが、その方々の言動が大きな判断材料になるのです。残念乍ら中には自重の低い方、欠席される方もおられます。外環予定地の見学も全員参加ではなかったですね。日本ではじめてのP . I . です。皆が見ています。事務局も、都知事、大臣と自治体にかかけあい、部長さん達の欠席をなくさせる事、簡単にピンチヒッターなど口にさせてはいけません。女性協議員に帰りのタクシー代位、出しても良いと思います。その一言一句迄広報する事が、内容ある議論につながると考えます。聞いて帰った内容はしっかり地域に伝え、会議論は皆さんに廻して居り、賛否の判断材料にして頂こうと考えております。住民にもチャンスを頂きありがとうございました。